

**直下型地震  
(中央構造線・長尾断層)  
の震源モデルの  
設定について**

# 中央構造線の震源モデル設定の考え方

⇒ ケース2で各市町の最大震度及び最大被災人口が発生していることから、ケース2を選定

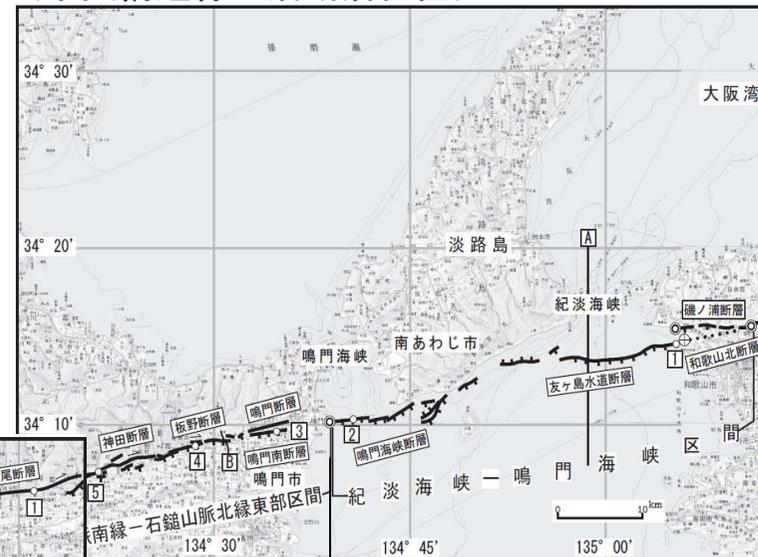
## 【中央構造線】

文部科学省地震調査研究推進本部が公表した「中央構造線断層帯(金剛山地東縁ー伊予灘)の長期評価の一部改訂について」(平成23年2月18日公表)によると、過去の活動地域の違いなどから、全体が6区間に分けられ、本県に最も近いのは「讃岐山脈南縁ー石鎚山脈北縁東部」である。

(讃岐山脈南縁ー石鎚山脈北縁東部の特性)

項目	地震調査研究推進本部
地震のマグニチュード	8.0程度もしくはそれ以上
ずれの量	6mー7m程度(右横ずれ成分)
断層の長さ	約130km
断層の幅	20ー30km
一般走向	N 70° E
傾斜(讃岐山脈南縁)	北傾斜30°ー40° (深さ5km 以浅)
断層のずれの向きと種類	右横ずれ断層 (上下方向のずれを伴う)

(中央構造線の活断層位置)

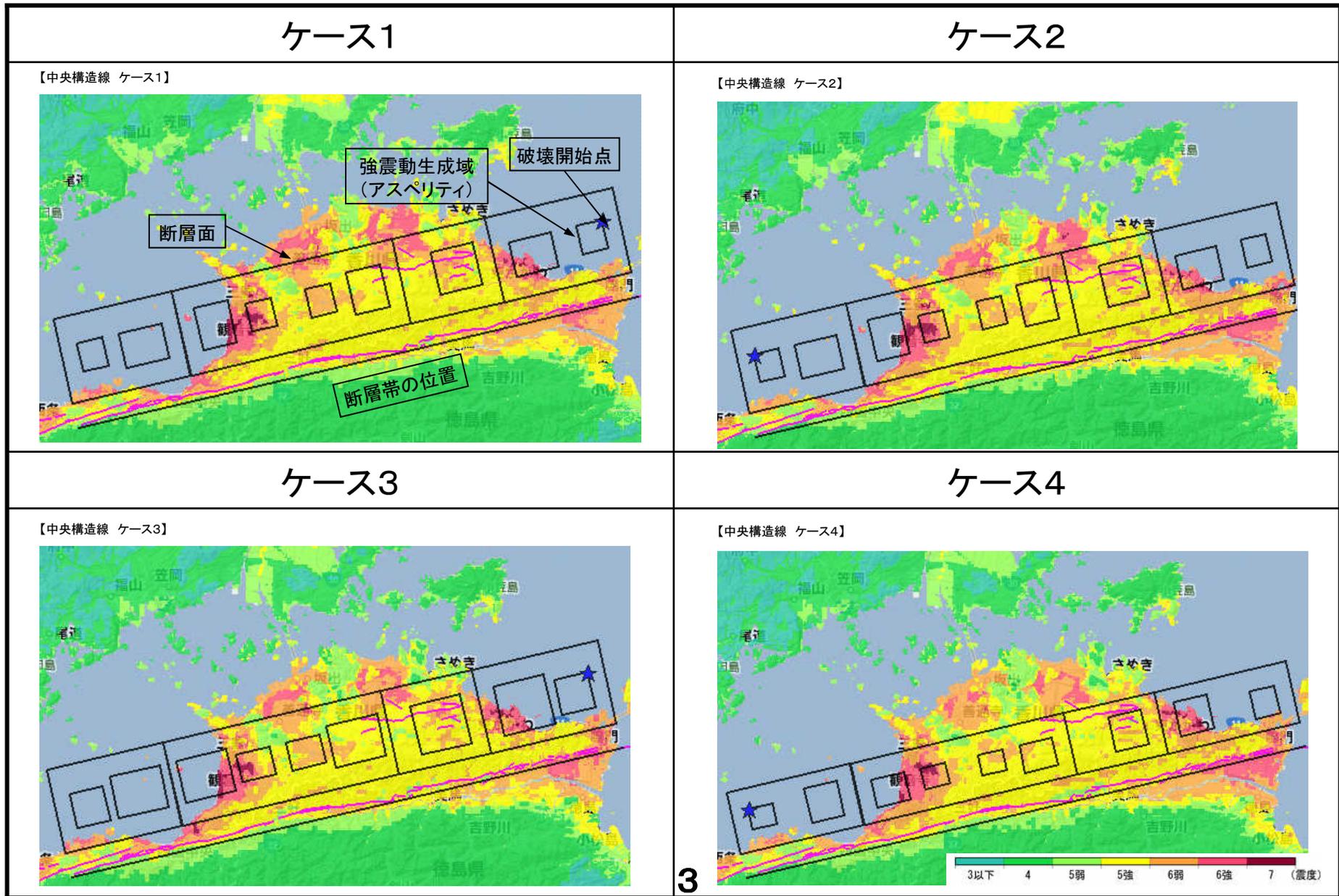


出典) 文部科学省地震調査研究推進本部

# 文部科学省地震調査研究推進本部 公表資料

## 震度分布(中央構造線)

出典)文部科学省地震調査研究推進本部



# 文部科学省地震調査研究推進本部 公表資料

## 香川県の震度分布(中央構造線)

 : 最大値

市町	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	最大値
高松市	6強	7	6強	6強	7
丸亀市	7	7	7	6強	7
坂出市	7	7	6強	6強	7
善通寺市	5強	5強	5強	5強	5強
観音寺市	7	7	7	7	7
さぬき市	6強	6強	6強	6強	6強
東かがわ市	7	7	7	7	7
三豊市	7	7	7	7	7
小豆郡土庄町	5強	5強	5強	5強	5強
小豆郡小豆島町	6弱	6弱	5強	5強	6弱
木田郡三木町	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
香川郡直島町	5強	5強	5強	5弱	5強
綾歌郡宇多津町	6強	6強	6強	6強	6強
綾歌郡綾川町	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
仲多度郡琴平町	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
仲多度郡多度津町	6強	6強	6強	5強	6強
仲多度郡まんのう町	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱

# 文部科学省地震調査研究推進本部 公表資料

## 香川県の被災人口(中央構造線)

 : 最大値

ケース	昼間人口 : 999,239(人)				夜間人口 : 1,009,051(人)			
	震度5弱 以上	震度5強 以上	震度6弱 以上	震度6強 以上	震度5弱 以上	震度5強 以上	震度6弱 以上	震度6強 以上
1	987,970	957,974	816,512	440,420	996,670	963,770	793,200	432,521
2	991,128	960,204	818,664	455,826	999,798	965,359	796,591	414,687
3	980,596	923,512	765,161	248,783	987,543	917,470	733,312	260,052
4	981,218	923,593	761,351	190,776	988,036	916,987	727,958	210,978

・被災人口: 想定した地震が発生した場合に、ある強さ以上の揺れに曝される人口  
(震度曝露人口)

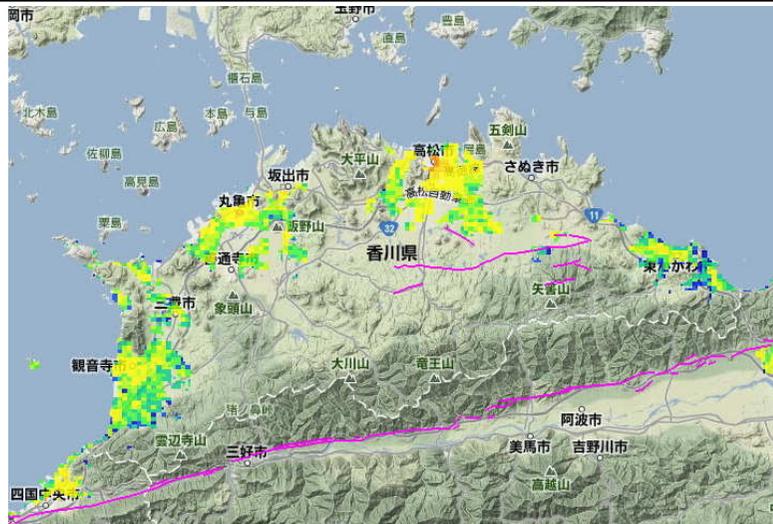
・出典) 被災人口(J-SHIS)・文部科学省地震調査研究推進本部

# 文部科学省地震調査研究推進本部 公表資料

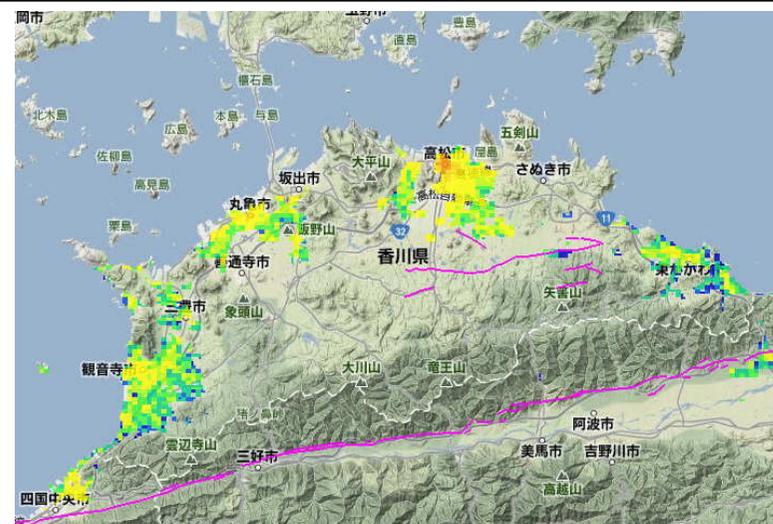
被災人口：中央構造線（震度6強以上）

出典)文部科学省地震調査研究推進本部

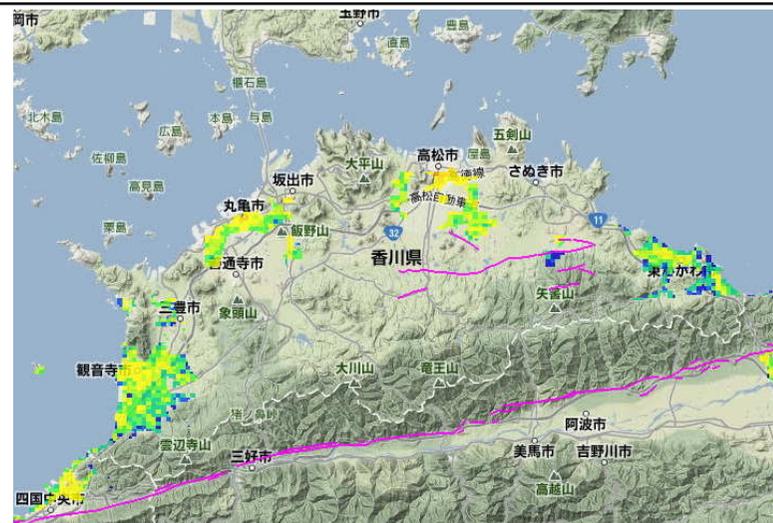
### ケース1



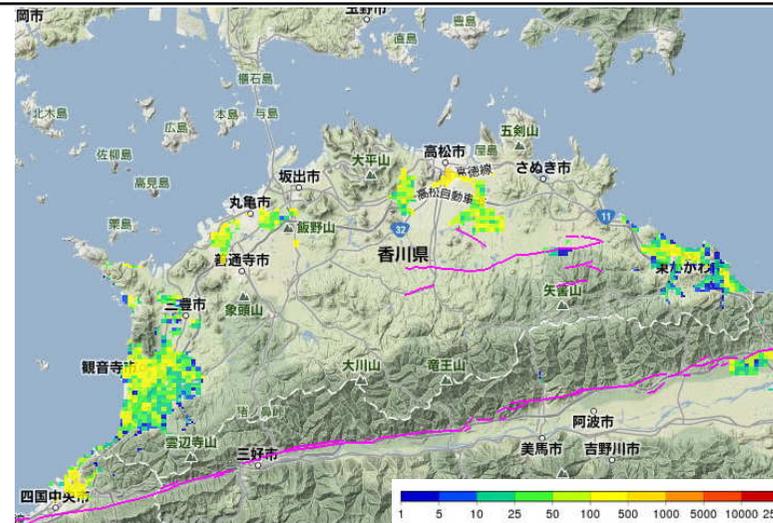
### ケース2



### ケース3



### ケース4



# 長尾断層の震源モデル設定の考え方

⇒ ケースごとに、各市町の最大震度はほぼ同様であるが、震度6強以上の被災人口が他のケースに比べ顕著に多いケース1を選定

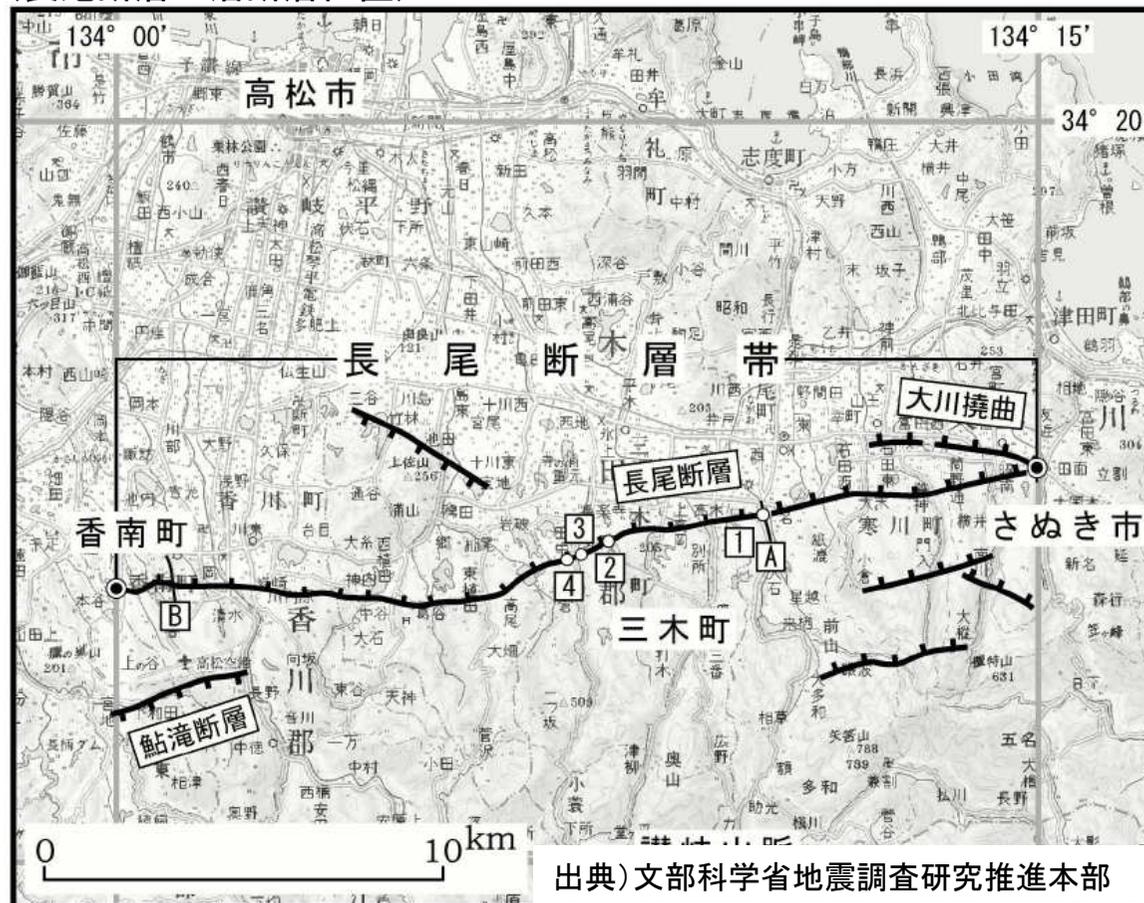
## 【長尾断層】

文部科学省地震調査研究推進本部が公表した「長尾断層帯の長期評価」(平成17年1月12日最終変更)によると、さぬき市から高松市香南町に達する断層である。

(長尾断層帯の特性)

項目	地震調査研究推進本部
地震のマグニチュード	7.1程度
ずれの量	1.2m-1.7m程度 (上下成分)
断層の長さ	約24km
断層の幅	25-30km
一般走向	N 80° E
傾斜 (讃岐山脈南縁)	南傾斜30°-40° (地下50-200m以浅)
断層のずれの向きと種類	南側隆起の逆断層 (右横ずれ成分を伴う)

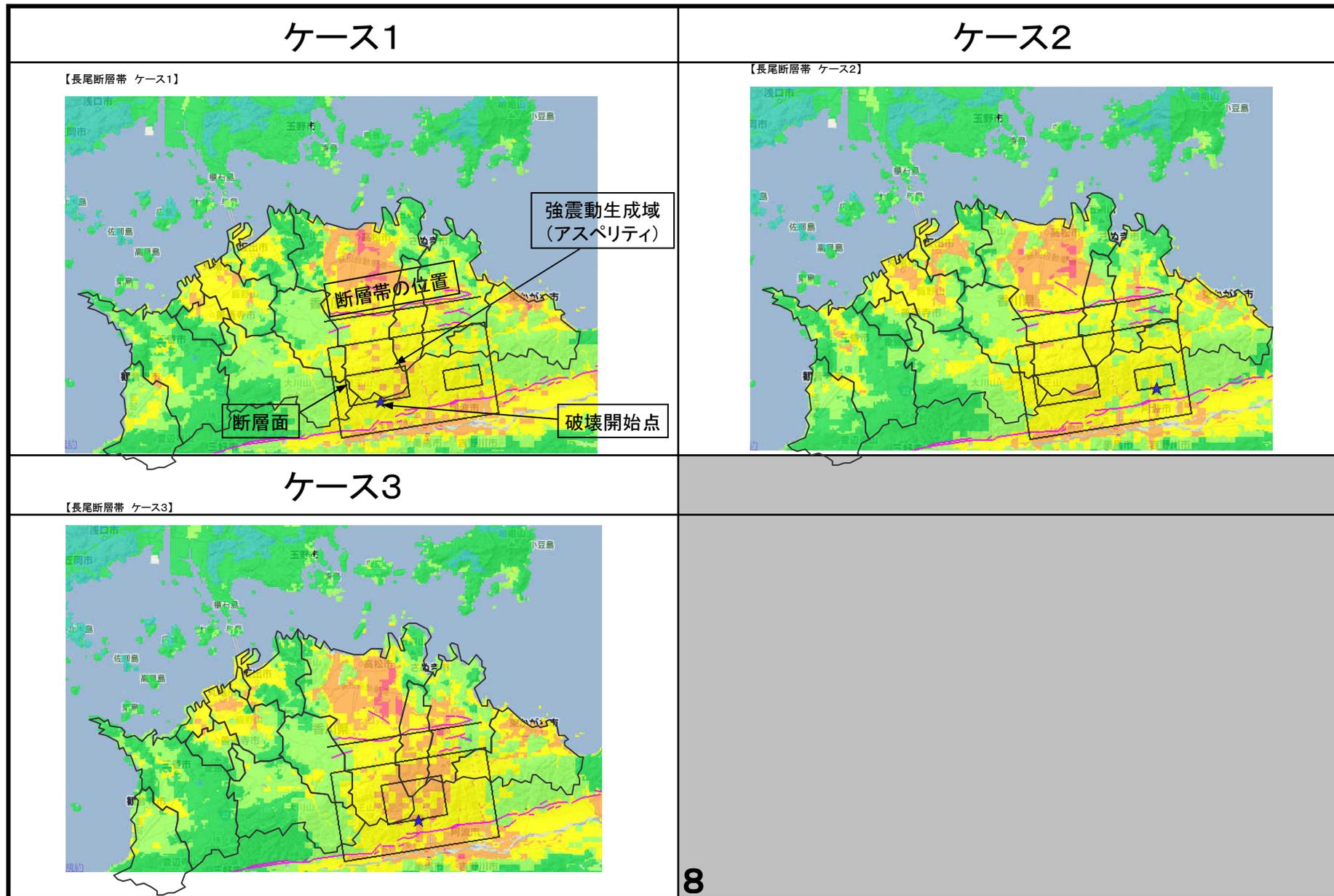
(長尾断層の活断層位置)



# 文部科学省地震調査研究推進本部 公表資料

## 震度分布(長尾断層)

出典)文部科学省地震調査研究推進本部



# 文部科学省地震調査研究推進本部 公表資料

## 香川県の震度分布(長尾断層)

 : 最大値

市町	ケース1	ケース2	ケース3	最大値
高松市	6強	6強	6強	6強
丸亀市	6弱	6弱	6弱	6弱
坂出市	6弱	6弱	6弱	6弱
善通寺市	5強	5強	5強	5強
観音寺市	6弱	5強	5強	6弱
さぬき市	6弱	6強	6強	6強
東かがわ市	6強	6弱	6弱	6強
三豊市	5強	6弱	5強	6弱
小豆郡土庄町	5弱	5弱	5弱	5弱
小豆郡小豆島町	5強	5強	5強	5強
木田郡三木町	6弱	6弱	6弱	6弱
香川郡直島町	5弱	5弱	5弱	5弱
綾歌郡宇多津町	5強	5強	5強	5強
綾歌郡綾川町	6弱	6弱	6弱	6弱
仲多度郡琴平町	5強	5強	5強	5強
仲多度郡多度津町	5強	5強	5強	6弱
仲多度郡まんのう町	5強	5強	5強	5強

# 文部科学省地震調査研究推進本部 公表資料

## 香川県の被災人口(長尾断層)

ケース1は、他ケースに比べて震度6強以上の被災人口が顕著に大きい

 : 最大値

ケース	昼間人口: 999,239(人)				夜間人口: 1,009,051(人)			
	震度5弱以上	震度5強以上	震度6弱以上	震度6強以上	震度5弱以上	震度5強以上	震度6弱以上	震度6強以上
1	921,175	717,608	375,753	76,426	918,260	692,482	330,951	47,025
2	921,304	704,878	403,363	11,977	918,856	680,760	366,035	17,936
3	927,389	701,033	393,169	21,142	924,503	675,644	363,106	24,982

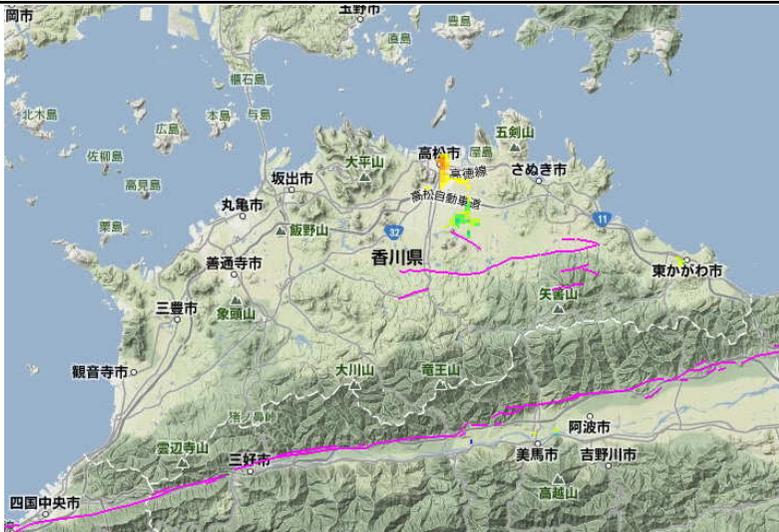
- ・被災人口: 想定した地震が発生した場合に、ある強さ以上の揺れに曝される人口(震度曝露人口)
- ・出典) 被災人口(J-SHIS)・文部科学省地震調査研究推進本部

# 文部科学省地震調査研究推進本部 公表資料

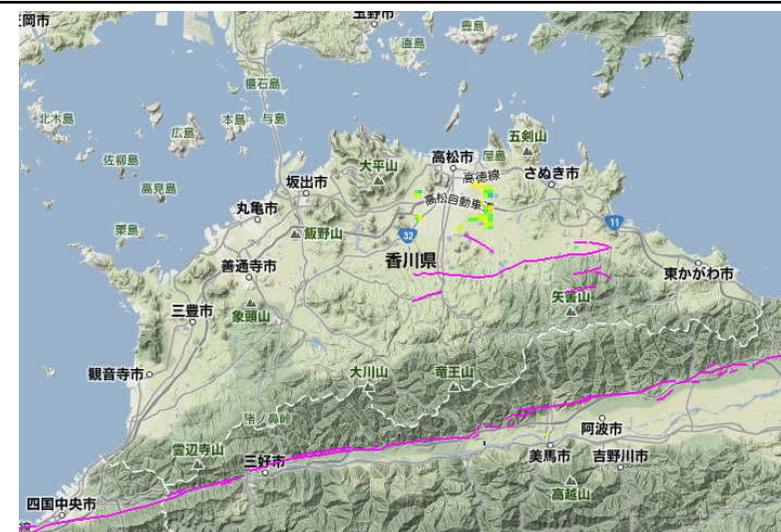
被災人口:長尾断層(震度6強以上)

出典)文部科学省地震調査研究推進本部

ケース1



ケース2



ケース3

